

やまぞの 有理新聞

yamazono
news paper

号外

2015

投票に行こう！
伊丹市議会議員選挙
4月26日(日)

1期目以上の、2期目へ。



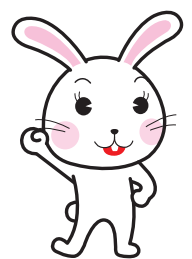
どうしたら、若い世代の政治への興味を湧かせることができるだろう・・・と思いつきました。考え続けました。「皆さんのおじいちゃんや、おばあちゃん、お父さんやお母さん、おじちゃんやおばちゃんのことを心配したり、何かあった時には、すぐに動いたり悩んだ

り発言したりすることと、皆さんが暮らしている伊丹市の政治に対して、心配したりするのは、同じ事なんだよ」と、思い続けて、また、お話しを伺い、行動し、発言を続けてきました。地域の子供会でも、様々な研修会でも、大切な事は、「理解し合い、支え合い、伝え合い、そして、解決や前進のために、決めて動く事」であると教えてくれたように思います。この強い思いを原動力に、まだまだ、動き、伝えていかなければなりません。



やまぞの有理の日頃の活動と、今の市政が分かる活動報告会開催!!

4月18日(土)
19時から20時30分
場所 きららホール
(4年間の振り返り)



高齢者だけではなくて、 子育て世代にとっても、 市バス事業が大切になる。

4年間、一貫して市バス事業に対して質問をさせて頂きました。また、市バスに関わる方からのお話しをお伺いしてまいりました。

私自身の一方的な思いや、認識不足からわき上がる感情もあったという反省はもちろんございますが、この4年間の過程を通じて、改めて思う事は、

「伊丹市には、市バスが必要だ」というシンプルな答えです。

様々な問題や課題があることは、重々承知しております。しかし、これからの時代、想定される未来、各世代のライフスタイルの変化の中で、伊丹市の中での市バスの存在は、「ただ、便利だから」という意味合いだけではないものであり、

また、車を運転しなくなる高齢者さんのためだけではなく、育児環境や労働環境、経済環境などを踏まえた各世代に欠かせないものになっていくと考えます。

当然のごとく、財政を無視した事業ではいきけません。継続できる事業としての「市バス」であり、市民の皆様にとって、快適で、便利で、そして、「楽しい」もので、「安心」できる交通インフラの一つの位置づけとしての市バスであるように、これからも考え、また、行動してまいります。また、皆様のご意見、アイデアがあつてこそ、これからの市バスであると考えております。皆様の暮らしや仕事の中からの様々な視点での意見を心よりお待ちしております。

後援会ご加入のお願い

やまその有理の活動にご賛同頂ける方の、後援会へのご入会をお願いしております。後援会入会申し込み書のご提出されたものをもって、会員とさせていただきます。

<経歴>

山藪有理/ヤマヅノユリ 1985年8月1日生まれ 29歳

伊丹市生まれ、伊丹市育ち、OLを経て

2011年4月 伊丹市議会議員 当選(25歳最年少当選/1507票)

[地域、社会活動歴・役職等] 2014年10月 伊丹市消防局女性消防団 入団

[習得資格] 2013年7月 防災士 習得 2014年10月 未生流 師範免状取得

[家族構成] 夫

[趣味] 華道・茶道、ジョギング、ゴルフ、映画鑑賞

1期目以上の、2期目へ。
29歳



<http://www.yamazonoyuri.jp>